

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

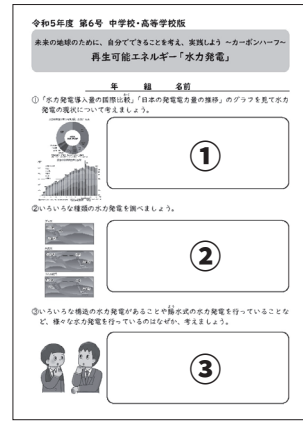
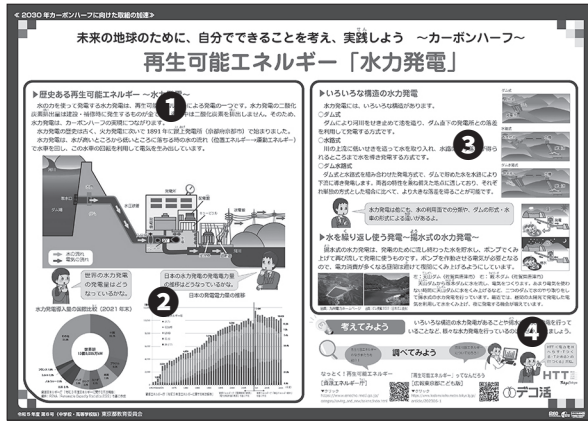
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ 再生可能エネルギー「水力発電」

①表題



②ねらい

- ・水力発電は、再生可能エネルギーによる発電の一つであることを理解する。
- ・水力発電は、運転中は温室効果ガスを出さないことを知る。
- ・「発電電力量の推移」、「世界の水力発電導入量の比較」から、日本の水力発電の現状を知る。
- ・いろいろな種類の水力発電について知る。
- ・再生可能エネルギーを普及させる方法について考え、実践しようとする意欲をもつ。

③本教材で扱う 主な内容

再生可能エネルギーの一つである水力発電が果たす役割、ダムの役割、生活の中の水、水力発電と温室効果ガスの関係、世界の水力発電導入量、日本の発電電力量、いろいろな種類の水力発電、自分たちにできる温室効果ガス削減の取組




④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、水力発電やその仕組みについて知る。	○ 水力は再生可能エネルギーの一つであること、水力発電は、運転中は温室効果ガスを出さないことを説明する。	◆ 掲示用教材①
○ 掲示用教材②を見て、水力発電について気が付いたことを話し合う。	○ 世界の水力発電導入量、日本の発電電力量の推移の比較から、日本の水力発電の現状を考えさせ、発表させる。	◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート①
○ 掲示用教材③を基に、いろいろな構造の水力発電について知り、水力発電について調べる。	○ いろいろな構造の水力発電について説明する。 ○ 水力発電について調べさせる。 ○ それぞれの水力発電の利点を考えさせ、まとめさせる。	◆ 掲示用教材③ ◆ ワークシート②
○ 掲示用教材④を見て、いろいろな構造の水力発電があることや揚水式発電を行っていることなど、様々な水力発電を行っているのはなぜか考える。	※ 小規模な水力発電（小学校高学年版の教材に掲載）を示しても良い。	◆ 掲示用教材④ ◆ ワークシート③

■ 資源エネルギー庁
なっとく！再生可能エネルギー

■ 広報東京都こども版
これからの地球のために不可欠！
「再生可能エネルギー」ってなんだろう

■ 東京都教育庁
カーボンハーフスタイルチャレンジ



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。